



iittala(イッタラ)は、1881年の創業のフィンランドのテーブルウェアブランド。中でもTeema(ティーマ)シリーズは、シンプルなデザインと機能性、耐久性を併せ持ち、世界中で愛されています。単独でも組み合わせでも、自由に使いまわせるため、日常使いはもちろん、おもてなしの場でも大活躍。次はどれにしよう…とサイズや色違いで買い足してしまう中毒性(!?)もあり、「やっぱりティーマ!」というファンが多いようです。

つくる・たべる・くらす
kuriya
kuriya-kurashi.jp



本店 長与町高田郷62-1 095-856-8101 大村店 水主町2-971 0957-27-3171

11:00-17:30 毎週水曜、第一日曜、月末休

※状況によって、営業日や時間に変更がある場合があります。予めご了承ください。

kuriyaは **フォーフォ** がお届けする暮らしのブランドです。

道具の紹介、イベント
レストランテ厨
kuriyaの家



information

11月のテーマ 冬時間の楽しみ

暖かい飲み物やブランケットで温もりを感じ、ほっと一息。心地よく過ごす冬支度、始めてみませんか。オーガニック素材の紅茶やジンジャーシロップ、Taoのソース、ケトルやポット、ティーマシ리즈など入荷予定。



Layout × kuriya 暮らしを紡ぐラグ - Tribal&Gabbeh - 11/21(土)~29(日) 本店・大村店

東京・中目黒のLayoutから今年もラグがやってきます。イランの織り手たちの心のこもった手仕事が、家族や仲間の集まる空間に温かい時間を紡いでくれます。



全商品 10~20%off

*店頭が無いサイズや柄もご相談承ります。

- 冬の日に - LAPUAN KANKURIT<ラブアンカンクリ>

今年もフィンランドからラブアンカンクリのショールやブランケット、湯たんぽが届きました。ふわふわと柔らかなウールに包まれて、寒い冬を暖かく快適に過ごしましょう。



女性のための東洋医学ミニ講座

楽しいお教室
を計画中です!



*薬劑師・はり師・きゅう師の川崎知寿先生。

ことを表します。西洋医学、東洋医学それぞれに長所と短所があり、体調を良くするためには、それぞれの短所を補いあう必要性があると思います。東洋医学は、まだまだ解明されていない点も多くありますが、長い間の経験や、臨床研究における、多くの病気への有効性メカニズムが解明されています。今では、その重要性は、世界の医療現場では日本以上に重要視されています。皆さんが、体調不良で困ったとき、ぜひ東洋医学のことを思い出していただけたらと思います。

marché

11/15 ■ GREEN GROCERY STOREの出張販売 本店 (日) 固定種、在来種の野菜を中心に、こだわりの食材や惣菜を販売

11/21 ■ チョープロファームの野菜販売 本店 (土) 企業が取り組む新しいカタチの農場から、農薬不使用野菜をお届け

11/29 ■ 天と地の恵みのやさい販売 本店 (日) 南島原市の田中山自然農園、草虫菜広せ、鈴木ファームの有機野菜販売



anothers group

リストランテ厨 095-865-9798 毎水曜、第一日曜休

実り豊かな秋の食材を使った創作イタリアンはいかが。※週末ランチは混み合う場合があります。
※ご来店時は早めの予約が確実です。

ランチ(月・火・木・金) 12:00~13:30OS
(土・日・祝) 1部 11:30/2部 13:00(各90分)
ディナー(金・土・日・祝) 18:00~20:30OS
※月・火・木は、ご相談に応じます。

- 詳細は電話、店頭にてお問い合わせください。
- 最新情報はHP・fb 「リストランテ厨」で検索



HP



facebook

kuriyaの家 095-856-8101 10:30~17:30

家を考えることは、暮らしを考えること。“日常”と“理想”がグッと近くなるような、日々の生活に寄り添った住空間を提案します。注文住宅、リノベーション、キッチン、暮らしのこと…ご相談ください。

- モデルルーム・モデルハウス見学は随時受付中(予約制)
- 施工例などはHP・fb・ig 「kuriyaの家」で検索



HP



facebook



instagram

東洋医学の必要性と将来性

私(へ女性のための東洋医学ミニ講座)という形でこのコラムは最後になることになりました。そこで今まで読んでいただいた皆様に東洋医学の必要性と将来性についてお伝えしたいと思っています。

近年、「統合医療」という近代西洋医学と、代替療法や伝統医学という漢方、はりや灸・食事療法・アロマテラピー・温泉療法・ヨガ・氣功などと組み合わせた治療法が世界で注目されています。

病気の原因が何かということではなく、その症状が起こった原因や崩れたバランスを診断し、自身が本来持っている自然治癒力を引き出すことの必要性が認められ、2018年にWHOにおける国際疾病分類に加わりました。このことは、地域における伝統医学の重要性が見直されたことを表します。